

日本機械学会第 58 期秋季講演会 参加報告

技術第 1 班 木村 英人

1. はじめに

令和 4 年 10 月 8 日に、日本機械学会東北支部第 58 期秋季講演会が開催された。機械工学に関係する研究者・技術者が一堂に会して議論する機会であるため参加し、口頭発表を行ったので報告する。

2. 日程および開催場所

日程 2022 年 10 月 8 日(土)
主催 鶴岡高専
(オンライン開催)

3. 講演内容等

セッション A1 熱工学
セッション A2 機械要素・設計工学(1)
セッション A3 機械要素・設計工学(2)
セッション A4 その他
セッション B1 材料力学(1)
セッション B2 材料力学(2)
セッション B3 流体力学・バイオエンジニアリング
セッション B4 材料力学(3)
セッション B5 材料力学(4)
セッション C1 材料工学
セッション C2 機械力学・計測制御(1)
セッション C3 機械力学・計測制御(2)
セッション C4 ロボティクス・メカトロニクス(1)
セッション C5 ロボティクス・メカトロニクス(2)

4. 学会に参加して

講演会は、3つのルームに分かれ、それぞれのセッションで発表 10 分、質疑応答 5 分で行われた。この中のセッション C3-機械力学・計測制御(2)において「音響式体積計を用いたイワガキの体積」と題し、口頭発表を行った。

イワガキの身入りを非接触による方法で判別する手法を提案する内容で、音響式体積計の製作、体積計の計測データの解析について報告を行った。質疑応答では、まだ計測誤差が大きい場合もあるという指摘をいただいた。今後、体積計の改良と計測誤差の原因を解明し、さらに高精度の計測を可能にしたいと考えている。

5. おわりに

機械工学について、他の大学・高専での研究について様々な内容を聴講することができた。今後の自身の教育・研究活動につなげていきたいと感じた。